Test-4-X

www.test-4-x.com/driving

Canada • ICBC Knowledge Test

British Columbia

Study Guide

KNOWLEDGE POINTS	CHAPTERS	EDITION
49	11	2026-10-18

© 2026 Test4X. All rights reserved.
For personal study use. Not for resale or redistribution.

Questions or corrections: support@test-4-x.com

Disclaimer

This study guide is compiled from official government handbooks and other publicly available sources, for educational purposes only. It is intended to help you study and prepare; it does not constitute legal or professional advice.

Rules and regulations change. Always refer to the official handbook published by your licensing authority for the most current and authoritative information. The publisher assumes no liability for any decision made on the basis of this material.

This publication is independent. It is not affiliated with, endorsed by, or sponsored by any licensing or examining authority. All trademarks are the property of their respective owners.

Edition 2026-10-18 • 49 knowledge points • 11 chapters

Spotted an error, or have a question about this guide?
support@test-4-x.com

Contents

01 Chapter 1: Developing your smart driving skills 1

02 Chapter 11: British Columbia specific 2

03 Chapter 2: You and your vehicle 4

04 Chapter 3: Signs, signals and road markings 6

05 Chapter 4: Rules of the road 8

06 Chapter 5: See-think-do 10

07 Chapter 6: Sharing the road 12

08 Chapter 7: Personal strategies 14

09 Chapter 8: Emergency strategies 16

10 Chapter 9: Your licence 18

11 Chapter 10: Responsibilities and penalties 20

CHAPTER 1

Chapter 1: Developing your smart driving skills

1.1 運転者の責任

賢明なドライバーは、自身の安全、同乗者、そして他の道路利用者の安全に責任を持ちます。これには、同乗者が適切にシートベルトを着用していることを確認し、礼儀正しく、予測可能な運転をすることが含まれます。

- ✓ 運転者には、16歳未満のすべての同乗者がシートベルトを着用していることを確認する責任があります。
- ✓ 他の道路利用者の安全を確保するため、予測可能で礼儀正しい運転を心がけてください。
- ✓ 常に、疲労、機能障害（薬物やアルコールの影響）、または強い感情がない、運転に適した状態でいてください。

CHAPTER 2

Chapter 11: British Columbia specific

2.1 Sharing the Road: Beyond Pedestrians & Cyclists

- ✓ Motorcycles: Speed Perception: Because of their small size, it is difficult to judge their speed. Drivers often underestimate how fast a motorcycle is approaching at an intersection. Following Distance: You should allow more following distance behind a motorcycle (3–4 seconds) because they can stop very quickly, and they may need to swerve suddenly to avoid road hazards like pot-holes or gravel.
- ✓ Heavy Vehicles (Large Trucks): Braking Distance: Large trucks use air brakes, which have a slight "brake lag." They require much more time and distance to stop than passenger cars. Wide Turns: Trucks may need to swing wide to the left to make a sharp right turn. Never try to pass a truck on the right if it is signaling a right turn.
- ✓ Animals (Horses): Protocol: When approaching a horse and rider, slow down and leave plenty of room. Strict Rule: Never sound your horn or rev your engine, as this can spook the horse and lead to a dangerous situation for the rider and other drivers.

2.2 Special Signs & Right-of-Way Details

- ✓ Railway Crossings: Stopping Distance: When a train is coming, you must stop between 5 metres and 15 metres from the nearest rail. Following Buses: Be prepared for school buses or vehicles carrying dangerous goods to stop at all tracks, even if the lights aren't flashing.
- ✓ Left Turn on Red: In BC, you may turn left on a red light only if you are turning from a one-way street onto another one-way street. You must come to a complete stop and yield to all pedestrians and traffic first.
- ✓ Move Over Law (Official Speeds): When passing a stopped emergency vehicle with flashing lights (police, ambulance, fire, tow trucks, or maintenance): If the posted speed is 80 km/h or higher, you must slow to 70 km/h. If the posted speed is under 80 km/h, you must slow to 40 km/h.

2.3 Environment & Defensive Driving Strategies

- ✓ Idling Rules: To protect the environment and save fuel, do not idle your engine for long periods. In many BC municipalities (like Vancouver), idling is restricted to no more than 3 minutes.
- ✓ Space Cushioning: Always maintain a "safety bubble" around your car. If you are approaching the crest of a hill or a curve where you cannot see the road ahead, slow down and move slightly to the right of your lane (Position 3).
- ✓ Observation (The 12-Second Rule): While you check mirrors every 5–8 seconds, you must also use the 12-second look-ahead rule. In the city, scan the road 12 seconds ahead (about one to two blocks) to anticipate hazards before you reach them.

2.4 Legal & Penalty Details (GLP Stage)

- ✓ Electronic Devices (Zero Tolerance): Drivers in the L or N stage are strictly prohibited from using any electronic device while driving. This includes hands-free sets, Bluetooth, and even using the phone as a GPS (even if it is mounted on the dashboard).
- ✓ L-Stage Supervisor Requirements: Your supervisor must be at least 25 years old and hold a valid Class 1, 2, 3, 4, or 5 license. They must sit in the front passenger seat.
- ✓ Displaying the L/N Sign: The sign must be clearly visible on the back of your vehicle. Failing to display it or placing it in the window where it is obscured can result in a fine and penalty points. For N drivers, any points can lead to a driving prohibition under the Driver Improvement Program.

CHAPTER 3

Chapter 2: You and your vehicle

3.1 運転前の車両調整

安全と車両の最適なコントロールを確保するため、運転前に座席、ヘッドレスト、ミラーを調整し、シートベルトを着用しなければなりません。

- ✓ すべての操作系統に楽に手が届くように座席を調整してください。
- ✓ むち打ち症を防ぐため、ヘッドレストの上部が耳の上部と同じ高さになるように設定してください。
- ✓ 死角を最小限に抑えるために、バックミラーとサイドミラーを調整してください。
- ✓ 常にシートベルトを正しく着用してください（腰ベルトは腰骨の低い位置に、肩ベルトは肩と胸の上を通るように）。

3.2 アンチロック・ブレーキ・システム (ABS)

ABSは、急ブレーキ時にタイヤがロックするのを防ぎ、ドライバーがハンドル操作を維持できるようにします。ABSの使用方法は、従来のブレーキとは異なります。

- ✓ 緊急時は、ブレーキペダルを強く、一定の力で踏み込みます（踏み込んだまま保持します）。
- ✓ ABS搭載車の場合は、ブレーキをポンピング（数回に分けて踏むこと）しないでください。
- ✓ ペダルに脈動や振動を感じることがありますが、これはABSの正常な作動です。
- ✓ ABSは、ブレーキをかけながらハンドル操作をすることを可能にします。

3.3 チャイルドシート（子供用安全拘束装置）

子供は、年齢、体重、身長に適した、政府承認のチャイルドシートまたはブースターシートに正しく座らせる必要があります。子供用拘束装置には4つのステージがあります。

- ✓ ステージ1：後ろ向きシート。誕生から少なくとも1歳かつ9kg（20ポンド）になるまで。
- ✓ ステージ2：テザー付き前向きシート。1歳以上かつ9kgを超え、少なくとも18kg（40ポンド）までの子供向け。
- ✓ ステージ3：ブースターシート。9歳未満、または身長が145cm（4フィート9インチ）に達するまでの子供向け。
- ✓ ステージ4：シートベルトのみ。子供が背中をシートにつけ、膝を座席の端で曲げて座れるようになったら。

3.4 車両の制御装置

安全な運転のためには、車両の主要および補助的な制御装置に精通していることが不可欠です。これには、ライト、方向指示器、ワイパー、クラクションが含まれます。

- ✓ すべての右左折および車線変更の際には、方向指示器を使用してください。
- ✓ ヘッドライトは、日没の30分後から日の出の30分前まで、および視界が悪いときはいつでも使用しなければなりません。
- ✓ 他の道路利用者の注意を引くためにクラクションを使用してください。
- ✓ パーキングブレーキとギア シフトレバー（P、R、N、D）の機能を理解してください。

3.5 車両のメンテナンスと点検

定期的に車両の状態をチェックすることは、安全運転の重要な要素です。これには、乗車前点検や、タイヤ、ブレーキ、フルード類の定期的なメンテナンスが含まれます。

- ✓ 運転前に、車両の周りを歩いて簡単な点検を行ってください。
- ✓ 定期的にタイヤの空気圧と溝の深さをチェックしてください。
- ✓ すべてのライト（ヘッドライト、ブレーキランプ、方向指示器）が作動することを確認してください。
- ✓ 冬季の運転には、冬用タイヤ（山と雪の結晶のマーク付き）を使用し、緊急キットを携帯してください。

3.6 運転と環境

運転習慣は、環境と燃料消費に大きな影響を与える可能性があります。環境に優しい運転（エコドライブ）は、より安全で経済的です。

- ✓ 安定した速度で走行し、急加速や急ブレーキを避けてください。
- ✓ タイヤの空気圧が適切であることを確認してください。
- ✓ 不必要なアイドリングを避けてください。
- ✓ 適切な車両のメンテナンスは燃費を向上させます。

CHAPTER 4

Chapter 3: Signs, signals and road markings

4.1 規制標識

規制標識は、ドライバーに法律や規則を知らせるものです。通常は白い背景の長方形で、必ず従わなければなりません。例として、一時停止（Stop）、譲り（Yield）、最高速度（Speed Limit）の標識があります。

- ✓ 赤と白の八角形は一時停止（Stop）の標識です。完全に停止しなければなりません。
- ✓ 赤と白の逆三角形は譲り（Yield）の標識です。速度を落とし、優先権を譲らなければなりません。
- ✓ 白い長方形は、法定最高速度を示します。
- ✓ 緑色の円は行為が許可されていることを意味し、線が引かれた赤色の円は禁止されていることを意味します。

4.2 警告標識

警告標識は、前方の潜在的な危険や道路状況の変化をドライバーに警告します。通常、黄色の背景を持つひし形です。

- ✓ 黄色のひし形の標識は警告を示します（例：急カーブ、滑りやすい道路、動物の横断）。
- ✓ 速度を落とし、標識に示された状況に備えてください。
- ✓ 丘の上のトラックが描かれた標識は、前方の急な坂道を警告します。

4.3 工事標識

工事標識は、前方に作業区域があることを警告します。オレンジ色の背景のひし形です。ドライバーは標識と交通整理員（旗振り員）の指示に従わなければなりません。

- ✓ オレンジ色の標識は、工事または作業区域を示します。
- ✓ 交通整理員の指示には必ず従わなければなりません。
- ✓ 工事区域の制限速度は一時的なものであり、必ず守らなければなりません。
- ✓ 車線閉鎖、迂回路、急停止に備えてください。

4.4 交通信号機

交通信号機は交差点の交通の流れを制御します。ドライバーは各色と信号の意味を理解しなければなりません。

- ✓ 赤色の灯火：停止線または横断歩道の手前で停止してください。
- ✓ 黄色の灯火：安全に停止できない場合を除き、交差点の手前で停止してください。
- ✓ 青色の灯火：交差点がクリアな場合は進むことができます。交差点内にすでにいる歩行者や車両に道を譲ってください。
- ✓ 赤色の点滅信号：一時停止の標識として扱ってください。
- ✓ 黄色の点滅信号：注意して進んでください。
- ✓ 緑色の矢印信号：交差点内にすでにいる歩行者や車両に道を譲った後、矢印の方向に曲がることができます。

4.5 路面標示

道路に引かれたペイント線は、交通を誘導し、規則を示します。黄色の線は対向車線を分離し、白色の線は同じ方向に進む車線を分離します。

- ✓ 黄色の実線：追い越し禁止。
- ✓ 黄色の破線：安全であれば追い越しができます。
- ✓ 白色の実線：車線変更は推奨されないか、許可されていません。
- ✓ 白色の破線：安全であれば車線変更ができます。
- ✓ 白色のひし形マークは、専用レーンを示します（例：HOV、バス）。

CHAPTER 5

Chapter 4: Rules of the road

5.1 交差点での優先権

優先権のルールは、衝突を避けるために、様々な交通状況で誰が先に行くべきかを定めています。これらのルールは、信号機などで制御されている交差点と、されていない交差点の両方に適用されます。

- ✓ 信号機などで制御されていない交差点では、左側の運転者は右側の運転者に道を譲らなければなりません。
- ✓ 四方向一時停止（4-way stop）では、最初に到着して停止した車両が先に進みます。2台の車両が同時に到着した場合は、右側の車両が先に進みます。
- ✓ 左折する際は、対向車に道を譲らなければなりません。
- ✓ 標識の有無にかかわらず、すべての横断歩道で歩行者に道を譲らなければなりません。

5.2 右左折のルール

適切な右左折の手順には、合図、正しい車線の選択、優先権の譲渡が含まれます。これにより、安全かつ予測可能な方法で右左折を行うことができます。

- ✓ 十分に余裕をもって、曲がる意思を合図で示してください。
- ✓ 右折の場合は、右側の縁石に最も近い車線に進入し、そこから出てください。
- ✓ 対面通行の道路から左折する場合は、中央線に最も近い車線に進入し、中央線に最も近い車線に入ってください。
- ✓ 信号機のある交差点、商業地区、または標識で禁止されている場所ではUターンをしないでください。

5.3 追い越し

他の車両を追い越すことはリスクの高い操作であり、合法的かつ安全な場合にのみ行うべきです。前方の道路がはっきりと見え、十分なスペースがあることを確認しなければなりません。

- ✓ 黄色い実線での追い越しは違法です。
- ✓ 制限速度を超えずに安全に追い越しができるよう、前方が十分に見通せることを確認してください。
- ✓ 追い越しのために車線を変更する前に、合図を出し、ミラーと死角を確認してください。
- ✓ 追い越した車両の前面全体がバックミラーに映ってから、自分の車線に戻ってください。

5.4 ラウンドアバウトとトラフィックサークル

ラウンドアバウトとトラフィックサークルは、交通の流れを改善するために設計された円形の交差点です。ドライバーは、すでにサークル内にいる車両に道を譲り、正しく合図を使用しなければなりません。

- ✓ すでにラウンドアバウトまたはトラフィックサークル内にいる車両に道を譲ってください。
- ✓ 右側から進入し、反時計回りに走行してください。
- ✓ 出るときは右の合図を出してください。
- ✓ 複数車線のラウンドアバウトでは、進入する前に目的の出口に適した車線を選択してください。

5.5 高速道路と自動車専用道路での運転

高速道路や自動車専用道路では、進入、退出、合流に特別なスキルが必要です。ドライバーは交通の流れに合わせて速度を調整しなければなりません。

- ✓ 合流する前に、加速車線を使って高速道路の交通速度に合わせます。
- ✓ 合図を出し、安全な車間距離を見つけてから交通に合流します。
- ✓ 高速道路を出るときは、減速車線を使って速度を落とします。
- ✓ 追い越し時以外は、右側車線を走行してください。

5.6 駐車のルール

ドライバーは、坂道を含め、合法的かつ安全に駐車する方法を知る必要があります。交差点、消火栓、横断歩道の近くに駐車する際には、特定の距離要件があります。

- ✓ 縁石のある上り坂で駐車する場合は、ハンドルを左（縁石から離れる方向）に切ります。
- ✓ 縁石のある下り坂で駐車する場合は、ハンドルを右（縁石の方向）に切ります。
- ✓ 縁石のない坂道（上り坂または下り坂）で駐車する場合は、ハンドルを右に切ります。
- ✓ 横断歩道または交差点から6メートル以内、消火栓から5メートル以内には駐車しないでください。

CHAPTER 6

Chapter 5: See-think-do

6.1 観察と危険予測

「見て・考えて・実行する」戦略の「見る」部分は、潜在的な危険を特定するために、運転環境を積極的にスキャンすることです。これには、前方を見ること、ミラーを確認すること、死角を意識することが含まれます。

- ✓ 市街地では少なくとも12秒先を、高速道路ではさらに遠く先までスキャンします。
- ✓ 5〜8秒ごとにミラーを確認します。
- ✓ 車線変更や右左折の前には、必ずショルダーチェック（目視確認）をして死角を確認します。
- ✓ 交差点に進入する前に、（左、中央、右、そして再び左を）スキャンします。

6.2 車間距離と安全なスペース

衝突を避けるためには、車両の周りに安全なスペース（クッション）を保つことが非常に重要です。「2秒ルール」は、理想的な条件下での最低限の車間距離です。

- ✓ 天候や道路状況が良い場合は、最低2秒の車間距離を維持してください。
- ✓ 交通量が多い場合や大型車の後ろを走行する場合は、車間距離を3秒に延ばしてください。
- ✓ 悪天候（雨、雪、凍結）の場合は、車間距離を4秒以上に延ばしてください。
- ✓ 避難経路を確保するために、車両の側面にオープンスペースを維持するよう努めてください。

6.3 速度の制御

状況に適した速度で運転することは、安全のために極めて重要です。掲示されている制限速度は、理想的な条件下で許可される最高速度です。

- ✓ 標識のない制限速度は、市内では時速50km、市外では時速80kmです。
- ✓ 悪天候、交通渋滞、または視界が悪い場合は、速度を落とさなければなりません。
- ✓ カーブに入る前に減速し、カーブの最中に減速してはいけません。
- ✓ 速度が遅すぎる運転は、スピード違反と同様に危険であり、交通の流れを妨げる可能性があります。

6.4 他の道路利用者とのコミュニケーション

効果的なコミュニケーションは、他の道路利用者があなたの意図を理解するのに役立ちます。これは、合図、ライト、クラクション、アイコンタクトによって行われます。

- ✓ 方向転換や車線変更をする際は、早めに方向指示器を使用してください。
- ✓ クラクションを軽く鳴らすことで、他のドライバーの注意を引くことができます。
- ✓ 歩行者や他のドライバーとアイコンタクトを取り、彼らがあなたに気づいていることを確認してください。
- ✓ ヘッドライトを点滅させることで、あなたの車がそこにいることを他のドライバーに知らせることができます。

CHAPTER 7

Chapter 6: Sharing the road

7.1 歩行者との道路の共有

歩行者は最も弱い立場にある道路利用者です。ドライバーは、特に交差点や横断歩道では、常に歩行者に道を譲る準備をしておかなければなりません。

- ✓ 表示がある横断歩道とない横断歩道の両方で、歩行者に優先権を譲らなければなりません。
- ✓ スクールゾーンや公園など、子供がいる可能性のある場所では特に注意してください。
- ✓ 横断歩道で停止している車両を追い越さないでください。歩行者が横断するのを待っている可能性があります。

7.2 自転車との道路の共有

自転車利用者は、自動車の運転者と同じ権利と責任を有します。運転者は自転車に注意を払い、十分なスペースを確保し、曲がったりドアを開けたりする前に確認しなければなりません。

- ✓ 自転車の後方を走行する際は、安全な車間距離を保ってください。
- ✓ 自転車を追い越す際は、少なくとも1メートルのスペースを空けてください（時速50km/hを超える高速道路では1.5メートル）。
- ✓ 右折や車線変更の前には、ショルダーチェック（肩越しの目視確認）で自転車がいないか確認してください。
- ✓ 「ダッチリーチ」を実践しましょう。遠い方の手で車のドアを開けることで、強制的に後方を確認し、自転車がいないか見ることができます。

7.3 スクールゾーンと公園ゾーン

スクールゾーンと公園ゾーンでは、子供たちを保護するために制限速度が低く設定されています。これらの制限は、特定の時間帯または特定の日に有効です。

- ✓ スクールゾーンの制限速度は時速30kmです。
- ✓ スクールゾーンの制限速度は、学校がある日の午前8時から午後5時まで有効です。
- ✓ 公園ゾーンの制限速度は時速30kmです。
- ✓ 公園ゾーンの制限速度は、毎日、夜明けから日没まで有効です。

7.4 スクールバスのための停止

スクールバスの赤色交互点滅灯が点滅している場合、それは子供たちが乗降していることを示しているため、運転手は停止しなければなりません。

- ✓ スクールバスの赤色交互点滅灯が点滅しているときは、前方からでも後方からでも接近している場合は停止しなければなりません。
- ✓ ライトが消え、バスが動き始めるまで停止し続けなければなりません。
- ✓ 唯一の例外は、中央分離帯で隔てられた高速道路を走行している場合です。その場合、同じ方向に走行している車両のみが停止しなければなりません。

7.5 緊急車両への対応

緊急車両（警察、消防、救急車）がライトとサイレンを鳴らして接近してきた場合、運転手は直ちに安全に進路を譲らなければなりません。

- ✓ 安全に道路の右側に寄せて停止してください。
- ✓ 交差点にいる場合は、交差点を通過してから寄せてください。
- ✓ 緊急車両が通過するまで停止したままでいてください。
- ✓ 交差点を塞がないでください。

7.6 大型車との道路の共有

トラックやバスなどの大型車には、大きな死角（ノーゾーン）があり、方向転換や停止にはより広いスペースが必要です。ドライバーは、これらの車両に十分なスペースを空けるべきです。

- ✓ 大型車の前方、後方、両側にある死角に入らないでください。
- ✓ トラックのミラーが見えない場合、運転手からもあなたは見えません。
- ✓ 大型車は停止するのに非常に長い距離を必要とするため、前に割り込まないでください。
- ✓ 大型車が大きく曲がれるように、十分なスペースを確保してください。

7.7 ムーブオーバー法（点滅灯をつけた停車車両）

警察、消防、救急車、レッカー車、保守作業車など、点滅灯をつけて停車している車両に対しては、ドライバーは減速し、車線を変更しなければなりません。

- ✓ 制限速度が時速80km以上の場合は、時速70kmまで減速しなければなりません。
- ✓ 制限速度が時速80km未満の場合は、時速40kmまで減速しなければなりません。
- ✓ 停車車両に隣接する車線を走行している場合は、安全であれば別の車線に移動しなければなりません。

CHAPTER 8

Chapter 7: Personal strategies

8.1 注意散漫運転

運転中に携帯電話などの電子機器を使用することは、違法であり危険です。飲食、身だしなみを整えること、ラジオの調整といった他の注意散漫な行為も、衝突のリスクを高めます。

- ✓ 段階的免許制度（LおよびN段階）のドライバーは、ハンズフリーであっても、いかなる電子機器の使用も許可されていません。
- ✓ 正式な免許を持つドライバーは、音声で作動し、車両にしっかりと固定されたハンズフリー装置のみ使用できます。
- ✓ 運転中に携帯機器を手に持ったり、操作したり、画面を見たりすることは違法です。
- ✓ 運転という作業から注意をそらすようないかなる活動も避けてください。

8.2 飲酒・薬物運転

アルコールや薬物の影響下で運転することは、厳しい罰則を伴う刑事犯罪です。能力の低下は、最初の一杯または一服から始まります。

- ✓ 段階的免許プログラム（LおよびN段階）のドライバーは、血中アルコール濃度（BAC）がゼロでなければなりません。
- ✓ 正規免許保持者の場合、血中アルコール濃度が0.05から罰則が科されることがあります。
- ✓ 血中アルコール濃度が0.08以上での運転は刑事犯罪です。
- ✓ 大麻、処方薬、違法薬物はすべて運転能力を損なう可能性があります。
- ✓ 飲酒や薬物使用を予定している場合は、運転しないでください。指定運転者、タクシー、または公共交通機関を手配してください。

8.3 ドライバーの疲労

疲労や眠気がある状態での運転は、飲酒運転と同様に、判断力、反応時間、注意力を著しく低下させます。

- ✓ 疲れているときは運転を避けてください。
- ✓ 長距離の移動では、1.5時間から2時間ごとに休憩を取ってください。
- ✓ 疲労の兆候を認識してください：あくび、目の重さ、集中力の低下。
- ✓ 疲れを感じたら、安全な場所に車を停めて休憩してください。

8.4 攻撃的な運転とロードレイジ（あおり運転）

車間距離の不保持、スピード違反、頻繁な車線変更などの攻撃的な運転は危険です。これは刑事犯罪であるロードレイジにエスカレートする可能性があります。

- ✓ 冷静を保ち、攻撃的なドライバーに関わらないようにしましょう。
- ✓ 目を合わせず、攻撃的な行動で報復しないでください。
- ✓ 追跡されたり嫌がらせを受けたりした場合は、警察署や人通りの多い公共の場所まで運転してください。
- ✓ 旅行の計画を立て、時間に余裕を持ち、思いやりを持って運転することで、自身の感情を管理しましょう。

CHAPTER 9

Chapter 8: Emergency strategies

9.1 悪天候での運転

雨、雪、氷などの悪天候は、トラクションと視界を低下させるため、ドライバーは速度と車間距離を調整する必要があります。

- ✓ 速度を落とし、車間距離を最低4秒以上に広げてください。
- ✓ 雨天時は、タイヤが路面との接触を失うハイドロプレーニング現象に注意してください。これが発生した場合は、アクセルを緩め、ハンドルをまっすぐに保ってください。
- ✓ 氷や雪の上では、すべての操作（ハンドル、ブレーキ、アクセル）をスムーズかつゆっくりと行ってください。
- ✓ 他の車からの視認性を高めるために、ヘッドライトを必ず点灯してください。

9.2 衝突事故発生時の手順

衝突事故に巻き込まれた場合、従わなければならない法的責任があります。最優先事項は、全員の安全を確保することです。

- ✓ 事故現場で車両を停止させなければなりません。
- ✓ 負傷者がいる場合は救護を提供してください。
- ✓ 他の運転手と情報（氏名、住所、免許証番号、保険）を交換しなければなりません。
- ✓ 負傷者がいる場合、またはすべての車両および所有物への損害総額が1000ドルを超えると見られる場合は、警察に事故を報告しなければなりません。

9.3 スキッドコントロール

スキッドとは、タイヤが路面とのグリップを失ったときに起こります。立て直すためには、冷静かつ正しく対応する方法を知る必要があります。

- ✓ スキッドが始まったら、アクセルとブレーキから足を離してください。
- ✓ 車のフロントを向けたい方向を見て、その方向にハンドルを切ってください。
- ✓ 車がまっすぐに戻り始めたら、カウンターステアを当てる準備をしてください。
- ✓ スキッドを悪化させる可能性のある急ブレーキは避けてください。

9.4 夜間の運転

夜間の運転は視界が悪くなるため、より危険です。ヘッドライトを正しく使用し、その照射範囲を超える速度で走行しない（オーバードライブしない）ことが重要です。

- ✓ 対向車や前方を走る車がいない照明のない道路では、ハイビームを使用してください。
- ✓ 対向車から150メートル以内に近づいた場合、または他の車の後方を走行している場合は、ロービームに切り替えてください。
- ✓ ヘッドライトの照射範囲を超える速度での走行（オーバードライブ）とは、ライトで照らされている距離内で停止できないほど速く運転することを意味します。
- ✓ 窓とヘッドライトを清潔に保ってください。

9.5 車両の故障

車が故障した場合、安全に路外へ移動させ、他のドライバーに警告することが最優先です。

- ✓ タイヤがパンク（バースト）した場合、ハンドルをしっかりと握り、アクセルから足を離し、車がコントロールできるようになったら穏やかにブレーキをかけます。
- ✓ ブレーキが効かなくなった場合、ブレーキペダルを数回踏み込み、ギアをローに入れ、パーキングブレーキを使用します。
- ✓ 車が故障した場合、路肩に寄せ、ハザードランプを点灯させ、ボンネットを開けます。

CHAPTER 10

Chapter 9: Your licence

10.1 段階的免許取得プログラム (GLP)

B.C.州の段階的免許取得プログラム（GLP）は、新規ドライバーが本免許を取得する前に、リスクの低い環境で経験を積むのを助けるために設計された2段階のプログラムです。

- ✓ 2つの段階は、ラーナー（L）とノービス（N）です。
- ✓ ラーナー（L）段階は最低12ヶ月間です。
- ✓ ノービス（N）段階は最低24ヶ月間です（ICBC認定の運転教習コースを修了すると18ヶ月に短縮可能）。
- ✓ LおよびNドライバーは、血中アルコール濃度（BAC）をゼロに保ち、電子機器の使用が禁止されています。

10.2 初心者（L）免許の制限事項

初心者免許（クラス7L）には、新規ドライバーが学習中に監督を受け、安全を確保するためのいくつかの制限があります。

- ✓ 資格のある監督者（25歳以上で有効なクラス1〜5の免許を所持）が助手席に同乗しなければなりません。
- ✓ 車両の後部に「L」サインを表示しなければなりません。
- ✓ 同乗者の制限：監督者1名と、それ以外の同乗者1名のみです。
- ✓ 深夜0時から午前5時までの運転は許可されていません。

10.3 初心者 (N) 免許の制限事項

初心者（クラス7）免許は、段階的免許取得制度（GLP）の第2段階であり、監督なしでの運転が許可されますが、いくつかの重要な制限があります。

- ✓ 車両の後部に「N」マークを表示しなければなりません。
- ✓ 同乗者の制限：同乗者は1名のみ。ただし、直系の家族である場合、または資格のある監督者（有効なクラス1〜5の免許を所持する25歳以上）が同乗している場合を除きます。
- ✓ 血中アルコール濃度（BAC）はゼロでなければなりません。
- ✓ ハンズフリーであっても、いかなる電子機器の使用も禁止されています。

10.4 路上試験の要件

路上試験を受けるには、予約や、安全で適切に保険がかけられた車両の持参など、特定の要件を満たす必要があります。

- ✓ すべての路上試験は予約制です。
- ✓ 現在の運転免許証と、認められている2種類の身分証明書を持参する必要があります。
- ✓ 持参する車両は安全で、有効な登録と保険に加入している必要があります。
- ✓ 路上試験に不合格となった場合、再試験を受ける前に義務的な待機期間があります（初回不合格は14日間、2回目は30日間、3回目以降は60日間）。

CHAPTER 11

Chapter 10: Responsibilities and penalties

11.1 運転免許証と保険

B.C.州では、車両を運転する際は常に有効な運転免許証と保険の証明書を携帯しなければなりません。

- ✓ 警察官から要求された場合は、運転免許証と保険書類を提示しなければなりません。
- ✓ ICBCに登録されている住所を常に最新の状態に保つ必要があります。
- ✓ 有効な免許証や保険なしで運転すると、多額の罰金や罰則が科せられます。

11.2 飲酒・薬物運転に対する罰則

B.C.州では、アルコールや薬物の影響下での運転に対し、即時路上運転禁止措置（IRP）、車両の押収、刑事訴追の可能性を含む厳しい罰則を設けています。

- ✓ 血中アルコール濃度（BAC）が0.05以上の場合、即時路上運転禁止プログラムを通じて罰則が適用されることがあります。
- ✓ 血中アルコール濃度（BAC）が0.08以上、または呼気サンプルの提供を拒否した場合は、刑法違反となります。
- ✓ 段階的免許取得プログラム（GLP）のドライバーは、体内に少しでもアルコールや特定の薬物が検出された場合に罰則の対象となります。
- ✓ 罰則には、運転禁止、罰金、車両の押収、義務的な更生プログラムが含まれます。

11.3 ドライバー改善プログラム (DIP)

ドライバー改善プログラムは、すべてのドライバーを監視し、交通違反に対して違反点数を割り当てます。点数が蓄積しすぎると、運転禁止につながる可能性があります。

- ✓ 交通違反に対して違反点数が科されます（例：スピード違反で2点、優先権を譲らなかった場合で3点）。
- ✓ 12ヶ月の期間内に4点以上が蓄積した場合、ドライバーペナルティポイント保険料を支払わなければなりません。
- ✓ ICBCは、点数が蓄積しすぎたドライバーや高リスクの違反を犯したドライバーに対して、運転禁止を命じることができます。
- ✓ GLP（段階的免許取得プログラム）のドライバーは、DIPの下でより早期かつ長期の介入措置の対象となります。